

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2003-120989(P2003-120989A)

【公開日】平成15年4月23日(2003.4.23)

【出願番号】特願2001-316946(P2001-316946)

【国際特許分類第7版】

F 2 4 F 11/02

【F I】

F 2 4 F 11/02 1 0 3 A

F 2 4 F 11/02 A

F 2 4 F 11/02 B

F 2 4 F 11/02 R

F 2 4 F 11/02 S

F 2 4 F 11/02 1 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月13日(2004.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

室内温度の調節機能を有する空気調和機において、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
前記四肢温度センサの検知温度に応じて運転を制御する制御手段と、
を具備したことを特徴とする空気調和機。

【請求項2】

被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、
前記室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを前記四肢温度センサ
の検知温度から判別する判別手段と、
前記快眠モードの設定時、前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、前記四肢温度セン
サの検知温度に応じて前記目標室内温度を補正する補正手段と、
を具備したことを特徴とする空気調和機。

【請求項3】

被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、
前記室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
被空調室内の湿度を検知する室内湿度センサと、
快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを前記四肢温度センサ
の検知温度から判別する判別手段と、
前記快眠モードの設定時、前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、前記四肢温度セン
サの検知温度および前記室内湿度センサの検知湿度に応じて前記目標室内温度を補正する
補正手段と、
を具備したことを特徴とする空気調和機。

【請求項 4】

被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、
前記室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを前記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、
前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、それからの時間経過を計測する計測手段と、
前記快眠モードの設定時、前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、前記四肢温度センサの検知温度および前記計測手段の計測時間に応じて前記目標室内温度を補正する補正手段と、
を具備したことを特徴とする空気調和機。

【請求項 5】

被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、
前記室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
被空調室内の湿度を検知する室内湿度センサと、
快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを前記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、
前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、それからの時間経過を計測する計測手段と、
前記快眠モードの設定時、前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、前記四肢温度センサの検知温度、前記室内湿度センサの検知湿度、および前記計測手段の計測時間に応じて前記目標室内温度を補正する補正手段と、
を具備したことを特徴とする空気調和機。

【請求項 6】

被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、
前記室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
被空調室内に居る人の四肢の湿度を検知する四肢湿度センサと、
快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを前記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、
前記快眠モードの設定時、前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、前記四肢温度センサの検知温度および前記四肢湿度センサの検知湿度に応じて前記目標室内温度を補正する補正手段と、
を具備したことを特徴とする空気調和機。

【請求項 7】

被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、
前記室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
被空調室内に居る人の心拍数を検知する心拍数センサと、
快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを前記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、
前記快眠モードの設定時、前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、前記四肢温度センサの検知温度および前記心拍数センサの検知心拍数に応じて前記目標室内温度を補正する補正手段と、
を具備したことを特徴とする空気調和機。

【請求項 8】

被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、
前記室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、
被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、
被空調室内に居る人の湿度を検知する四肢湿度センサと、

被空調室内に居る人の心拍数を検知する心拍数センサと、
快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを前記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、

前記快眠モードの設定時、前記判別手段の判別結果が肯定の場合に、前記四肢温度センサの検知温度、前記四肢温度センサの検知温度、および前記心拍数センサの検知心拍数に応じて前記目標室内温度を補正する補正手段と、

を具備したことを特徴とする空気調和機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2に係る発明の空気調和機は、被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、この室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを上記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、上記快眠モードの設定時、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、上記四肢温度センサの検知温度に応じて上記目標室内温度を補正する補正手段と、を備えている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項3に係る発明の空気調和機は、被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、この室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、被空調室内の湿度を検知する室内湿度センサと、快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを上記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、上記快眠モードの設定時、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、上記四肢温度センサの検知温度および上記室内湿度センサの検知湿度に応じて上記目標室内温度を補正する補正手段と、を備えている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 4 に係る発明の空気調和機は、被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、この室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを上記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、この判別手段の判別結果が肯定の場合に、それからの時間経過を計測する計測手段と、上記快眠モードの設定時、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、上記四肢温度センサの検知温度および上記計測手段の計測時間に応じて上記目標室内温度を補正する補正手段と、を備えている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 5 に係る発明の空気調和機は、被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、この室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、被空調室内の湿度を検知する室内湿度センサと、快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを上記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、それからの時間経過を計測する計測手段と、上記快眠モードの設定時、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、上記四肢温度センサの検知温度、上記室内湿度センサの検知湿度、および上記計測手段の計測時間に応じて上記目標室内温度を補正する補正手段と、を備えている。

請求項 8 に係る発明の空気調和機は、請求項 4 ないし請求項 7 のいずれかに係る発明において、さらに、四肢温度センサを有し、かつ人体の四肢に対する装着が可能で、四肢温度センサの検知温度を一定時間ごとに当該空気調和機の室内ユニットに無線送信するセンサユニット、を備えている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項6に係る発明の空気調和機は、被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、この室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、被空調室内に居る人の四肢の湿度を検知する四肢湿度センサと、快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを上記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、上記快眠モードの設定時、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、上記四肢温度センサの検知温度および上記四肢湿度センサの検知湿度に応じて上記目標室内温度を補正する補正手段と、を備えている。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項7に係る発明の空気調和機は、被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、この室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、被空調室内に居る人の心拍数を検知する心拍数センサと、快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを上記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、上記快眠モードの設定時、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、上記四肢温度センサの検知温度および上記心拍数センサの検知心拍数に応じて上記目標室内温度を補正する補正手段と、を備えている。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

請求項8に係る発明の空気調和機は、被空調室内の温度を検知する室内温度センサと、この室内温度センサの検知温度が目標室内温度となるよう運転を制御する制御手段と、被空調室内に居る人の四肢の温度を検知する四肢温度センサと、被空調室内に居る人の湿度を検知する四肢湿度センサと、被空調室内に居る人の心拍数を検知する心拍数センサと、快眠モードの設定時、被空調室内の人が睡眠状態に入ったか否かを上記四肢温度センサの検知温度から判別する判別手段と、上記快眠モードの設定時、上記判別手段の判別結果が肯定の場合に、上記四肢温度センサの検知温度、上記四肢湿度センサの検知温度、および上記心拍数センサの検知心拍数に応じて上記目標室内温度を補正する補正手段と、を備えている。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】